

校長室の窓



令和7年度第78回卒業証書授与式

学校長のことば

只今、卒業証書を授与されました171名の卒業生の皆さん、本日晴れて卒業の日を迎えられましたこと、大変喜ばしく心から祝福いたします。おめでとう。

また、ご参列いただいております保護者の皆様、この度のお子様のご卒業誠におめでとうございます。

そして、本日公私ともにご多用の中お越しいただいております、山北町町長 湯川裕司様、山北町教育委員会教育長 水野博文様、PTA副会長 和田恵美子様をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜りましたこと心より厚く御礼申し上げます。

今回は、ここ松田町生涯学習センター大ホールの素晴らしい会場をお借りして、このように卒業式を迎えることができました。卒業生の皆さんにとっては、きっと一生の思い出になると確信しております。

卒業式が終わった後は、皆さんは学校に戻り、最後のホームルームで、担任の先生から卒業証書を受け取ります。この瞬間は特別な時間です。先生方は、皆さんの入学当初から今日まで寄り添い、支え続けてきた存在です。その先生方から直接卒業証書を手渡されることには大きな意義があります。それは山北高校での学びの集大成として、感謝の気持ちを胸に未来へ進む力を受け取る時間になるからです。どうかその瞬間を大切に心に刻んでください。

さて、卒業生の皆さんが、これから社会に羽ばたくにあたり、現代を象徴する新しい技術「生成AI」との付き合い方についてお話したいと思います。生成AIは、文章作成や画像生成、さらには複雑な問題解決を支援してくれる強力なツールです。例えば、プレゼンテーション資料の作成やアイデアを形にすること、日々の学びをさらに深めるために利用できる可能性を秘めています。この技術は、皆さんの創造性をさらに広げる道具となることでしょう。しかし、同時に注意が必要です。AIが提供する情報には、必ずしも正確でないものや偏りが含まれる場合があります。使い方を誤ると、逆に自分の判断力や考える力を損ねてしまうこともあり得ます。「鵜呑みにしない力」、そして「正しく活用する力」を身につけることが、皆さんが新しい時代を生き抜くためには必要です。技術に振り回されるのではなく、共に成長するパートナーとしてAIを活用する姿勢を持ち続けてください。AIという目覚ましい進化を享受できるのは、今を生きる皆さん世代ならではの可能性です。それを自分自身の成長や社会への貢献に役立てる道を見つけることが、これからの皆さんに求められる課題であり、チャンスでもあると私は思います。

次に、先日行われた4年に一度の冬季五輪についてお話したいと思います。「ミラノ・コルティナオリンピック」は、私たちの心に多くの深い感動を与えてくれました。世界を舞台に活躍するアスリートたちの姿には、多くの努力、挫折、そして喜びがありました。特に、負けそうになりながらも最後まで諦めず全力で挑戦する選手たちの姿勢は、本当に心を打たれるものでした。彼らを見て、改めて思ったことがあります。それは、夢や目標に向かうためには「自分を信じ続ける力」が必要だということです。その力がある限り、どんな困難も乗り越えられます。皆さんも、これから待ち受ける新しい社会では、これまで以上に多くの壁や困難に出会うことでしょう。しかし、皆さんならきっと乗り越えられます。信念と勇気を持ち、自らの目標に向かって、積極的に挑戦することが大切です。皆さん一人ひとりが、これからの社会の変化に対応し、「持続可能な社会の創り手」として、また、未来を築く、担い手となってくれることを、大いに期待しています。

結びに、78期卒業生の皆さんの未来が、希望と喜びに満ち溢れたものになることを心から願っています。皆さんの今後の活躍と健康をお祈りし、私からのことばとさせていただきます。